**線かい名**警備第一課・第二課
施策目標
消防業務を効果的・効率的に実施する

警備第一課・第二課

		が		平成 2 5 年度評価														広場連集に関する取組										
	事務事業 指標・目標						実績						事後評価				平成	26年度記	計画		経営改善	方針の重点事	広域連携に関する取組 今後の事業展開					
総		象	<b>業</b> の					活動			決算内訳	(千円)			05 FT FF		活動		予算内訳(千円)	47 24 76 25	/#### I					r 1-#	必要性	予
事括業フ	事務事業名	事務事業の	性	( )	目標値 第2次実施計画	画)		活動量	・サービス	ス量	<ul><li></li></ul>	活動ごとの決算額	事業の指 標の達成	事務事業の目的に対 する成果の状況	25年度の取組に対す		活動量・サービス量		当該事務事   第   業全体の   活動ごとの   務   予算額   予算額   言	女 七針での	善経営改善による おりがん ひんしん おりがん おりがん おりがん おりがん ひりん ひりん ひりん ひりん ひんしん ひんしん ひんしん ひんしん ひん	目標 (数值目標等	目標の定	改善時期	具体的な 改善内容	広域連携の   連携   具体的な内	B =	事業のの方
ラ グ	(第2八天旭計画	(第2次実施計画) 各	分	05年度	00年度	07年度	活動	活動指標の 名称	目標値	実績値	(合計)		状況	する版本のイスル	る分析	活動	活動指標の 名称	目標値	(合計)	等	方向性	(双胆口1年子)	我	(年度)	以音内苷	実施	的産成果	続向性
			_	25年度	26年度	27年度					0	0		計画的に災害対応訓練					0 0	4 4 9 4 4						人事交流を通	成	
1 総	火災・救助業	災害に迅速に対 応し、災害被害 を軽減する。 市民等	定 訓練実施回数(出 動に対し迅速に	52回	5 2 回	5 2回							5 2 回 (100%	を実施し、災害活動に おいて有効な活動を実	Α				茅							じて応援協定 済 に基づく災害	未高高	高 現状維持 な
	17ti	を軽減する。	型 活動した率)	(100%)	(100%)	(100%)							)	施することができてい る。					Ē	進める						現場での連携 を強化する。		Ü
	.l. /// At pt Ni															当防水利の維持		100%	当									
1	火災・救助業 務						火災に対応する 水利保全	実施回数	144回	144回						消防水利の維持 管理に伴う点検 調査	公設消火程の 点検実施率	(2,314箇所)	言	H								
																			Œ								$\overline{}$	
1	火災・救助業															消防水利の維持 管理に伴う点検 調査	公設防火水槽	100%	第 系	5								
	務															調査	の点検実施率	所)	富田	i i								
							大規模火災対応									火災防ぎょ戦術			¥	位置付け					地域の実情に 応じた効果的			
1	火災・救助業 務						訓練・同時多発 火災対応訓練	実施回数	4 🛛	4 🛛						確立訓練・特殊 災害対応連携訓	実施回数	4 🛛	彩言	ないが取 り組みを	その他	4 🗆	実施回数	28以	な活動戦術を 検討し災害時			
																無			E						の被害を軽減する。			
1	火災・救助業						救助対応の連携	宇施同数	480	48回						救助対応の連携 訓練・水難救助	宇施同数	48回	当		その他	48回	実施回数	28以	各種災害対応 の訓練をとお して救助活動			
	務						訓練	大旭四奴	4 0 🖺	4 0 🖭						連携訓練	大旭四奴	4 0 🖺	盲	リ組みを 進める	ての個	4 0 0	大旭四数	阜	して教助活動 技術を強化す る。			
																			<b>*</b>	Í							+	
1	火災・救助業 務															寒川町消防本部 との人事交流に よる相互研修	派遣人員	4人	<b>新</b>	5								
		複雑多様化する														S STEEM IS			<u> </u>	Ī								
		救急業務に対し	定 救急現場到着平	6 14	6 16	6 14							7.5分	救急現場到着時分は目 標値に対し1 . 4分遅					当	É								予
2	救急業務	を習得し訓練を 市民等 実施して救命技	定 (病院到着平均型 所要時分)	(30分)	(30分)	(30分)							(30分)	延したが病院到着平均 所要時分は目標値を上	Α				言	なし						不可	未高高	高現状維持なし
		術を向上させ る。												回ることができた。													444	
2	救急業務						高度救急資機材即抵到	宇施同数	144回	1 4 8 🗇						高度救急資器材即均割練	宇施同数	1440	第 務	5								
2	<b>双</b> 忌耒份						取扱訓練	大旭四奴	1446	1462						取扱訓練	大旭四奴	1442	言									
		立入検査を実施	定											計画的に対象施設の立					¥	É								予
3	立入検査業務	し消防設備不備 事項の改善指導 市民等	例 立入検査数	492件	492件	492件							492回	入検査を実施し、適 宜、不備事項の改善指	Α					3 +\1						不可	未高高	高 現状維持 算な
		により火災被害 を軽減する。	型											導を実施することがで きた。					盲	Ī								L
																立入検査の実施 及び指道			第	ŧ								
3	立入検査業務						立入検査、指導	実施回数	492回	492回						及び指導	実施回数	492回	形 言 匹	- -								
		普通救命ジュニ	_											N/71 4-47   N-18   14-1						•								
4	消防補助事業	アコース・防災 訓練での指導や 街頭消火器確認 調査等により防	足 例 他課からの依頼 完 悪け λ わ 作物	185回	185回	185回							169回	消防各課と連携、協力 を図り、各事業を効果 的に実施することがで	Α					なし						不可	未高高	高 現状維持 党
		調査等により防 災力を高める。	型 인기(11)다였											きた。														Ü
							普通救命ジュニ									普通救命ジュニ												
4	消防補助業務						アコースでの指 導	実施回数	24回	6 💷						アコースでの指 導	実施回数	24回										
4	消防補助業務						施設・車両見 学、防災アカデ	実施回数	45回	48回						施設・車両見 学、防災アカデ	実施回数	46回										
	713173 118243 94 97						ミー講習の実施									ミー講習の実施												
4	消防補助業務						地域の防災訓練 への参加	実施回数	4 🛽	4 🔟						地域の防災訓練 への参加	実施回数	4 🛽										
	74 UF 74 UF 36 SW						街頭消火器確認	D. W. C. S.	112回 (2回の報	4.4.2.						街頭消火器確認	E AA PERANTE	1 0 0 %										
4	消防補助業務						調査の実施(年 度内報告2回)	天旭山奴	告に対する 調査回数)	1 1 2 💷						調査の実施	点検実施率	(2,696箇所)										
		本市域に、地震動・津波等伴う																										
	《宝内与社学	諸現象による多 発的災害が発生	定																									
888	災害応急対策 活動	した場合に、被 市民等 害を軽減し応急	定型																									
		対策活動を迅速的確に実施する																										
		0.					茅ヶ崎市消防計画における理																					
888	災害応急対策 活動						画における課 (班)の活動内 容の検証及び見	事務を適正に 執行した割合	1 0 0 %							応急対策活動マ ニュアルの充実		2 6年12 月										
							直し																				$\perp \perp \perp$	
000	災害応急対策															応急対策業務の	行動手順書の	26年10										
888	活動															実施手順の検証	見直し	月										
																											+++	+ +
888	災害応急対策 活動															所属職員の応急 対策業務の実施 手順の習熟	所属内での訓 練・研修実施	2 🗇										
																于順の貿熱												

業務棚卸評価シート

**線かい名**警備第一課・第二課
施策目標
消防業務を効果的・効率的に実施する

警備第一課・第二課

2/2

基礎情報							平成25年度評価									平成26年度計画					経営改善方針の重点事項に係る取組							広域連携に関する取組		今後の事業展開			
事務事業			*	指標・目標			実績						事後評価			1 1 2 1 2 1 2 1 2					THE PARTY OF THE P												
事業	442			対業						活動			決算内訳 (千円)			事務事業の目的に対	25年度 の取組		活動		予算内部	予算内訳 (千円)		A a							必要性		予
	括	<b>事務事業名</b>	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)	~ (   の	A 11-	(	目標値 (第2次実施計画)			活動量	・サービ	ス量	当該事務事 業全体の 活動ごとの		事業の指				活動量・サービス量		当該事務事 業全体の	活動ごとの 辞		善経営改善によ る	目標	目標の定	改善	具体的な	広域 連携	広域連携の		事業の	算の
	= (	第2次実施計画		客 質 区	名称	,			活動	活動指標の 名称	日価値	実績値	決算額 (合計)     決算額       0     0	決算額	標の達成 状況 0	する成果の状況	に対す る分析	活動	活動指標の	日挿信	予算額 (合計)	予算額 ) 0 0	務 計 位置付け 等	取り組みの ( 方向性	トの (数値目標等)	義	時期 (年度)	具体的な 改善内容	実施	具体的な内容	的一個	継方向性続	方向
	9			分		25年度 26年度 27年	27年度		口标吧		关膜胆	0				C 75 III		名称	日信旭	731312								700		成ズ素	性	性	
888				定																													
	総に	内共通事務		市民等例定																													
				型																													